

アメリカから導入したタンジェロ類について

桑波田竜沢・坂元三好・※宮迫一郎

(鹿児島県果樹試験場)

KUWAHATA, R., SAKAMOTO, M. and MIYAZAKO, I.

On the Adaptability of the American born Tangelos.

はじめに

鹿児島県では西南暖地の特性を生かした晩柑栽培の有利性が認識されつつあり、殊に南部離島ではポンカンと並んでタンカンがかなり栽培されつつある。しかしタンカンは果汁に風味がなく、一般に果実が小さく商品価値の低いものが生産されがちである。また果実が樹上で越冬するために寒害によるスリになりやすく、従って栽培適地が非常に制限されることになる。そこで当果試ではかねてからタンカンにかわる優良晩柑の探索育成につとめてきたが、さる昭和39年2月にアメリカ、カリフォルニア州、魚田農場から穂木で導入したものが結実を始め、これらについて一応の成績をとりまとめたので報告する。

II. 調査結果および考察

第1表 導入品種の特性表

品 種 名	交 配 ♀ × ♂	作 出 地	熟 期	果 形	果 皮 色	剥 皮 の 難 易	種 子 の 数	樹 勢	結 果 習 性	耐 病 性	
										カイヨウ病	ソウカ病
Minneola	Dancy	フロリダ	2月	扁円又は円 扁 円	黄 色	やや難	多	中	豊産性	中	強
Orlando	〃 × 〃	〃	3月	扁 扁	橙黄色	易	多	中	中	中	弱
San Jacinto	Grapefruit × Dancy (?)	〃	3月	扁 円	紅橙色	易	多	強	豊産性	強	強
Allspice	Imperial × Willowleaf	カリフォル ニヤ	3月	扁円又は円	紅橙色	易	多	強	中	弱	中

1. 品種別の特性

(1) Minneola

果実は緊りがよく果皮は油胞が突出している。果重は140g程度で円又は扁円形、剥皮は寛皮ミカン程容易ではない。果肉は柔軟多汁で糖酸ともに高く風味食味ともによい。熟期は2月頃である。樹勢は中庸で枝条はやや密に発生し斜向または直立する。葉は先端がやや尖り基部が丸味を帯びた紡錘形で小さい。耐病性(カイヨウ病、ソウカ病)耐寒性もあり豊産性である。

(2) Orlando

果実は扁円形、果面は油胞がくぼみや凹凸があ

I. 調査方法

昭和39年2月当果試ビニールハウス内で以下(穂木→台木)の組合せで高接ぎ(腹接ぎ)し、樹勢、果実の品質、熟期、耐病性等について調査した。

minneola → C. macrophylla, P. trifoliata

Orlando → P. trifoliata

San Jacinto → C. macrophylla, troyer

Allspice → troyer

この内C. macrophylla台のminneolaと

San Jacintoはそれぞれ昭和43年および昭和44年に枯死した。

※現鹿児島県果樹協会

る。果重は170g程度、果汁に独特の芳香があり肉質食味ともによい。熟期は3月頃である。樹勢は中庸で枝条はかなり密生しやや下垂性が強い。葉は大型で長紡錘形、暗緑色を呈する。耐寒力もかなりあり、カイヨウ病には弱い方ではないが、ソウカ病には極めて弱い。

(3) San Jacinto

果実は扁円形果皮は紅橙色果肉は橙黄色果面は滑かである。剥皮はやや困難であるが、肉質は極めて柔軟かつ多汁である。熟期は3月頃である。樹勢は中庸で枝条は密に発生し開張または斜向する。葉は

丸味を帯びた太目の紡錘形である。耐病性、耐寒性もかなりある。

#### (4) Allspice

果実はやや腰高で扁円または円形で大きさ果形はほぼ高しょうポンカンに似ている。果皮は紅橙色、果面は滑かである。果肉は橙黄色すこぶる柔軟多汁

で独特の芳香を持ち、肉質食味ともによい。樹勢はかなりよく枝条は密生し、やや開き気味の枝条は先端が下垂する。葉は紡錘形先端は丸味を帯びやや小型であるが、若い葉には大きな翼葉を生ずる。耐寒力がやや弱く、カイヨウ病にも弱い。

第2表 果実特性調査表

品 種 名	横 径 mm	縦 径 mm	果 形 指 数 H/D	果 重 g	比 重	果 肉 歩 合 (%)	果 汁 歩 合 (%)	室 数	じょう のうの 厚さmm	糖 度	クエン酸 100g/cc	甘味比	種子数	調査日
Tankan	61.8	54.9	1.1	108.0	0.89	69.8	64.6	10.3	0.12	13.1	1.12	11.7	22.3	3月20日
Minneola	70.1	57.3	1.4	138.8	0.91	85.0	55.6	12.8	0.16	14.8	1.86	8.0	13.3	2月13日
Orlando	76.1	57.4	1.3	170.6	0.94	78.2	68.9	12.2	0.13	12.2	1.22	10.0	20.2	3月14日
San Jacinto	71.2	61.7	1.2	164.0	0.80	75.1	60.1	12.0	0.11	12.6	1.48	8.5	30.0	3月14日
Allspice	68.8	68.5	0.97	169.1	0.88	69.7	69.7	11.0	0.19	11.8	1.34	8.8	24.2	3月14日

#### 2. タンカンとの比較

熟期は minneola を除きおおよそ似たものである。minneola はやや早熟であり、他は3月中旬以降が熟期となりやや遅い。果重は全てタンカンを上廻り、殊に San Jacinto, Orlando はかなり大果となる。糖およびクエン酸含量がたかくなっている。

#### む す び

果実の品質は minneola, Allspice が優れており、

熟期は minneola が最も早くその他の3種は3月中旬以降となる。樹は San Jacinto が最も強健で耐寒力、耐病性でも優れている。Allspice はカイヨウ病に弱く、Orlando はソウカ病に極端に弱い。従って当県の経済栽培には、生食加工両用として果実の品質は中程度であるが San Jacinto が有望と考えられ、生食用としては、耐寒性にやや不安はあるが、果実の品質のよい minneola が有望と考えられる。